

『木簡研究』一〇五号総目次

創刊の辞

卷頭言―木簡と墨書土器―

〃 ―中国簡牘呼称についての提言―

〃 ―木簡保存法の思い出―

〃 ―木簡史の研究について―

概要

- 一九七八年出土の木簡・概要
- 一九七九年出土の木簡・概要
- 一九八〇年出土の木簡・概要
- 一九八一年出土の木簡・概要
- 一九八二年出土の木簡・概要

図版

- 平城宮跡出土木簡 1六 2五・六 3一・二 4一〇四 5六
- 平城京左京三条二坊宮跡庭園跡出土木簡 2六
- 法華寺西南部(第一三三四次)出土木簡 3二
- 平城京左京二条二坊坊間大路(第一三二二六次)出土木簡 3二

(アラビア数字は号数、漢数字は図版番号)

岸 俊男

平野邦雄

大庭 脩

坪井清足

関 晃

加藤 優

和田 萃

柴原永遠男

東野治之

佐藤宗諱

号数頁数

1

2

3

4

5

1

3

1

1

1

1

藤原宮跡出土木簡

1四・五

長岡京跡出土木簡

2七 3三・四 5一〇五

平安京跡出土木簡

1二・三 3五・六 4五

国府遺跡(大阪)出土木簡

1六 2七

佐堂遺跡(大阪)出土木簡

4六

鴨遺跡(滋賀)出土木簡

2一〇三

伊場遺跡(静岡)出土木簡

1一

城山遺跡(静岡)出土木簡

2四

下野国府跡(栃木)出土木簡

4六

郡山遺跡(宮城)出土木簡

4六

府県別木簡出土遺跡目次

(\*印は「一九七七年以前出土の木簡」の項でとりあげたもの)

〔奈良〕

平城宮跡

推定第一次朝堂院地区(第一二〇次)〔図版六〕加藤 優 1 9

東院園池北方地区(第一一〇次)〔図版六〕 〃 1 9

推定第一次内裏地区(第一一七次) 清田善樹 〃 2 7

東院園池西南地区(第一二〇次)〔図版五、六〕 〃 2 7

南面東門(壬生門)(第一二三次)〔図版一、二〕佐藤 信 3 7





〔大阪〕

国府遺跡〔図版七〕

大坂城三の丸(京橋口)遺跡

大坂城三の丸(大手口)遺跡

大坂城跡

大蔵司遺跡

若江遺跡

佐堂遺跡〔図版六〕

小曾根遺跡

〔兵庫〕

吉田南遺跡

御着城跡

鷗・城山遺跡

出合遺跡

辻井遺跡

〔滋賀〕

鴨遺跡〔図版一〇三〕

穴太遺跡

佐久間貴士

藤井直正・栄原永遠男

藤井直正

中尾芳治・中川信作

森田克行

阿部嗣治

三宅正浩

柳本照男

田辺昭三

山本博利・秋枝 芳

三村修次

鎌木義昌・亀田修一

山本博利・秋枝 芳

丸山竜平

林 博通

穴太遺跡

服部遺跡

畑田廃寺跡

野路岡田遺跡

野畑遺跡

〔和歌山〕

野田地区遺跡

湯川神社境内遺跡

〔三重〕

下郡遺跡

小判田遺跡

柚井遺跡

木津氏館跡

西沖遺跡

〔愛知〕

下津城跡

林 博通

大橋信弥

近藤 滋

別所健二

林 博通

渋谷高秀

久貝 健

山田 猛

北野 保

栄原永遠男

森前 稔

北條猷示

5

2

2

3

5

3

4

1

1

\* 1

2

2



堂の前遺跡

道伝遺跡

〃

笹原遺跡

明成寺遺跡

安田遺跡

藤田有宣・平川南

尾形與典

藤田有宣

手塚孝

佐藤庄一

白山橋遺跡

御館遺跡

高堂遺跡

南吉田葛山遺跡

四柳嘉章

〃

戸潤幹夫

浜野伸雄

〔秋田〕

秋田城跡

弘田柵跡

〃

〔福井〕

大森鐘島遺跡

日野川朝宮橋下流

〔石川〕

漆町西遺跡

漆町遺跡 (C地区)

桜町遺跡

〔岡山〕

百間川遺跡群 (原尾島遺跡)

助三畑遺跡

肩脊堀の内遺跡

〔広島〕

草戸千軒町遺跡

志田原重人

小田原昭嗣

尾道市街地遺跡

山県元

『木簡研究』総目次

安芸国分尼寺伝承地	松下正司・山県元	2	55	九州大学(筑紫地区)構内遺跡	倉住靖彦	4	82
下岡田遺跡	松下正司	* 3	68	長野遺跡	小方泰宏	4	83
道照遺跡	福島政文	4	75	辻田西遺跡	栗山伸司	4	85
				高畑廃寺	柳沢一男	5	75
〔山口〕				〔大分〕			
長門国府周辺遺跡	甲元真之・山内紀嗣・伊東照雄	1	47	藤田遺跡	小倉正五	5	76
周防鑄銭司跡	倉住靖彦	* 2	70	論 文			
長門国分寺跡	伊東照雄	4	76	中国簡牘研究の現状	大庭脩	1	63
				東北地方出土の木簡について	平川南	1	78
〔愛媛〕				長岡京木簡と太政官厨家	今泉隆雄	1	97
久米窪田Ⅱ遺跡	吉本 抔	2	56	藤原宮跡出土の奴婢関係木簡について	鬼頭清明	1	112
				木簡と大宝令	岸 俊男	2	73
田村遺跡	森田尚宏	5	73	中国における雲夢秦簡研究の現状	永田英正	2	101
〔福岡〕				袖井遺跡出土の木簡	栄原永遠男	2	118
三宅廃寺	二宮忠司	1	48	中国における簡牘研究の位相	池田 温	3	71
金光寺跡	倉住靖彦	2	58	庸米付札について	狩野 久	3	99
観世音寺僧房跡	〃	3	55	静岡県城山遺跡出土の具注曆木簡について	原 秀三郎	3	115
大宰府学校院跡東辺部	〃	3	57	草戸千軒町遺跡出土の木簡―形態を中心に―	志田原重人	3	141
大宰府跡(大楠地区)	〃	4	81	呪符木簡の系譜	和田 萃	4	97

木簡と上代文学―水産物付札をめぐって―	小谷博泰	4	137
字訓史資料としての平城宮木簡―古事記の用字法との比較を方法として―	小林芳規	5	87
平城宮出土の衛士関係木簡について	鬼頭清明	5	111
記念講演 (M・ローウェ) 要旨	佐藤宗諄	1	123
木簡第一号発見のころ	田中 琢	1	125
「漆紙文書」出土概要	佐藤宗諄	4	152
木簡とコンピュータ	田中 琢	5	125
書評			
『草戸千軒―木簡一―』	水藤 真	5	129
その他			
『雁鴨池』発掘報告書の刊行		1	39
前川遺跡 (愛媛県松山市南久米町五〇六) 出土の遺物		2	57
福岡宮ノ本遺跡出土の買地券		2	71
御子ヶ谷遺跡出土木簡の報告書公刊		3	43
金堂の仏前に木簡あり		3	67
平城京出土の最古の漆紙文書―かつて発掘され、最近発見された―		3	114

皇后宮職官人銘記の墨書土器		3	140
『但馬国分寺木簡』の刊行		4	48
訂正とお詫び		4	71
『草戸千軒―木簡一―』の刊行		4	74
あいつぐ墨書土器の出土―静岡県坂尻遺跡―		5	32
大阪府立泉北考古資料館『記された世界展』の紹介		5	49
『平城宮出土墨書土器集成I』奈良国立文化財研究所編		5	54
鹿の子C遺跡の調査報告書公刊される		5	56
『東大寺領横江庄遺跡』刊行さる		5	70
法隆寺百萬塔の墨書銘		5	110
彙報			
1	128		
2	154		
3	152		
4	156		
5	134		
編集後記			
1 131 (狩野久) 2 156 (田中稔) 3 154 (佐藤宗諄) 4 158 (鬼頭清明) 5 136 (柴原永遠男)			